

Ⅲ. 教育課程表・学科の教育目標・専門科目の学び方

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合			現代社会	数学Ⅰ			化学基礎	体育	保健	美術Ⅰ	C英語Ⅰ			工業技術基礎	情報技術基礎	電気基礎			プログラミング技術	L	H	R							

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年	国語総合	地理A		数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	C英語Ⅱ	家庭基礎	ハードウェア技術	情報技術実習		電気基礎	電子回路	プログラミング技術	L	H	R												

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3年	現代文A	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	C英語Ⅱ	家庭基礎	課題研究	情報技術実習	電子回路	電子計測制御	通信技術	数学B	英語Ⅰ	L	H	R													

教育目標

コンピュータに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、めざましく発展する情報社会における技術の変化に主体的に対応でき、情報技術の諸問題を合理的に解決する応用力と創造性豊かな技術者を育てる。

【情報技術科とは?・・・】

近年、パソコンや携帯電話の普及に伴い、コンピュータの利用形態は大きく変化し、大衆の中に急速に溶け込んできています。その背景には、通信技術の発達やインターネットの普及があり、さらにハードウェアやソフトウェアの改良でコンピュータの操作性が著しく向上したことが上げられます。情報技術科ではこうした情報社会の変化に対応できる技術者を目標とし、通信技術やマルチメディアの活用、プログラム言語等を学んでいきます。また、コンピュータの構造や自動制御技術を知る上で必要な電気の基礎や電子回路についても学習します。

【情報技術科の学習内容】

入学した全ての生徒は、共通の基礎科目として「工業技術基礎」「情報技術基礎」を学びます。情報技術科では専門性を高めるために、2つに大別して学習を進めます。

- ・コンピュータについて・・・コンピュータの基本的な動作原理や周辺機器のしくみについて学び、実習では実際に組み立てからセットアップまでを行いハードウェア、ソフトウェアの両面を学びます。

- ・あらゆる情報の手段について・・・ラジオやTVの無線、電話等の有線、衛星通信等について、電気の基礎や電子回路を踏まえた上で幅広く学びます。

【1年生】

工業技術基礎、情報技術基礎、電気基礎、プログラミング技術を通じて、高学年で学ぶ専門科目の土台を作ります。情報技術基礎、プログラミング技術は「基本情報技術者試験」の午前免除講習の一部に位置づけ12月には希望者は午前免除認定試験を受験できます。本学科ではC言語及びC++言語を中心にコンピュータ言語の学習をします。

【2年生】

実習に加え、専門科目である電子回路、電気基礎、プログラミング技術(C#)、ハードウェア技術を学びます。実習はより専門的となりワンチップマイコンやオペアンプ等学習した内容を横断的に学びます。

【3年生】

通信技術や計測制御、電子回路において応用的かつ実用的な内容を学習します。課題研究では各自テーマを決め計画的に進めていきます。多くの生徒はものづくりをテーマに選択します。また、選択科目のコンピュータシステム技術では、CAD、データベース、LAN構築、Linux、Webサイト構築などのソフトウェアに関する実技を学習します。